

# 京都SDGsパートナー登録証



特定非営利活動法人未来世代のための  
市民委員会は、  
SDGs、CO<sub>2</sub>ゼロに  
取り組むことを宣言します。

## 【宣言内容】

### ●2030年のSDGs達成に向けた目指す姿と運営・事業方針●

私たちが基盤に置くウェールズ未来世代法は、SDGs達成を目的に国内法に制定された世界で唯一の法律です。この理念と実際例を日本にご紹介することは、日本のSDGs推進に寄与できると思います。そのために、広く市民に行き渡る言語化と経験する場が必要と考え、事業を作っています。

### ●SDGsに関する重点的な取組●

経済に対する取り組みで重要なことは、「くまなく循環する」ことだと思っています。偏りなく循環すること。そのためには信頼できる協働の輪が小さくいくつもできることが重要だと考え、他団体とのネットワーク作りや、市民のみなさまにも参加しやすい場作りを心がけています。

社会に対する取り組みで重要なことは、誰もが安心して声を出せることだと考えています。声を出しにくい立場の人、声を通らないとあきらめてしまっている人に安心して発言してもらえる場を、主にオンラインでの少人数での対話会などで、実践を積み重ねることを大切にしています。

環境に関する取り組みにおいて重要なことは「知識を持つこと」「正しい情報を選びアクセスできること」「市民が参加できること」が重要であると考えています。環境は、市民一人一人の手で作り出し、維持するものであるため、環境における社会課題について学ぶ場と、自分ごととして考え言語化する機会を提供しています。

### ●文化や地域活動に関する重点的な取組●

SDGsすべての分野：環境・経済・社会を多様化させる基盤が文化や地域活動だと考えています。地域の歴史や文化は多様で、そこにいる人たちの手でどのように育まれてきたかを知ること、知ってどのようにしていきたいかを共に考えるための調査活動と、学び話す機会を提供しています。

※ 記載の取組内容やその効果、登録者自体を保証するものではありません。

登録番号 00599

登録日 2025年8月8日

特定非営利活動法人未来  
世代のための市民委員会



京都超SDGs  
コンソーシアム



京都市  
CITY OF KYOTO

京都SDGsパートナー制度は、オール京都でSDGsを推進する「きょうとSDGsネットワーク」を構成する制度の1つです。SDGsの社会実装を目指す産学公連携組織「京都超SDGsコンソーシアム」と京都市が連携し、実施しています。

